

千葉国際芸術祭 2025 のプレ企画

「そろそろ、〇〇の人たち」および「タイムラグ・パーク2」を開催します

千葉市では、令和7年度に開催予定の千葉国際芸術祭 2025 に向けて、プレ企画「そろそろ、〇〇の人たち」および「タイムラグ・パーク2」を開催しますので、お知らせします。

1 そろそろ、〇〇の人たち

(1) イベント概要

本展は、令和7年2月に開催した「まちばのまちばり」の中間成果発表です。

「まちばのまちばり」では、まちから集めた服を素材に、各回「〇〇の人」をテーマに全5回のワークショップを行い、音が鳴る服をつくったり、破れた形を活かしてリメイクしたり、生き物の身体をヒントにデザインするなど、工作的な手法による服作りに挑戦しました。

本展会場には、ワークショップを通じて生まれた「〇〇の人たち」が並びますので、ぜひお越しください。

(2) 開催日程

令和7年3月8日(土)～12日(水)

各日10:00～18:00

(3) 会場

ZOZOSTUDIO(稲毛区緑町1-16-6)

(4) 参加方法

直接会場にお越しください。

(5) 協力

株式会社マイキー、株式会社 ZOZO

(6) 千葉国際芸術祭 2025 公式ティザーサイト

【URL】<https://artstriennale.city.chiba.jp/news/67b92b8413dfa00bd5836047/>



Photo by TADA(YUKAI)
まちばのまちばりの様子
(令和7年2月開催)



2 タイムラグ・パーク2

(1) イベント概要

令和6年11月に国道357号上部空間で開催した「タイムラグ・パーク」に続き、スケートボードとアートを組み合わせたユニークな会場が出現します。今回は会場規模を拡大し、初心者向けスケートボード体験会やプロスケーターデモンストレーション、壁画のワークショップを開催します。

(2) 開催日程

令和7年3月8日(土) 11:00～16:00 ※雨天時は9日(日)に順延

スケートボード体験会(事前申し込み) ①11:00 ②11:30

壁画ワークショップ 11:30～16:00

プロスケーターデモンストレーション 13:30～15:00

(3) 会場

千葉市役所から千葉銀行本店に向かう国道357号上部空間

(4) 参加方法

スケートボード体験会のみ事前申し込みが必要です。参加を希望される方は千葉国際芸術祭2025公式ティザーサイトからお申し込みください。(各回先着8人)

他の企画については直接会場にお越しください。

(5) 協力

長岡産業株式会社

(6) 千葉国際芸術祭2025公式ティザーサイト

【URL】<https://artstriennale.city.chiba.jp/news/67c3fa4b8416f7d73859e5e1/>



Photo by TADA (YUKAI)
タイムラグ・パークの様子
(令和6年11月開催)



3 取材について

現地取材を希望される場合は、開催日の2日前(閉庁日の場合は前日の開庁日)までに文化振興課(電話245-5261)までご連絡ください。また、取材の際は、貴社腕章を着用してください。

<参考>

1 千葉国際芸術祭とは

千葉市では、市制100周年記念事業の一つとして、また、文化プログラムとして令和3年度に「千の葉の芸術祭」を開催しました。

芸術祭を一過性の取り組みで終わらせず、継続して開催することで、本市の文化芸術の振興に大きな役割を果たすことができると考え、芸術祭の定期的な開催に向けて、「千葉市芸術祭基本構想」を策定し、令和7年度に「千葉国際芸術祭2025」として開催を予定しています。

なお、令和7年度以降も、本芸術祭を定期開催していくことで、本市の魅力を国内外問わず広く発信して文化芸術による多様な交流を生み出し、文化芸術にあふれた創造性豊かな街となることを目指します。

2 「ぞろぞろ、〇〇の人たち」アーティストプロフィール

西尾 美也(にしお よしなり)氏

1982年、奈良県生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。

文化庁芸術家在外研修員(ケニア共和国ナイロビ)などを経て、装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したプロジェクトを国内外で展開。

「六本木アートナイト2014」ではテーマプロジェクトを手がけ、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館の3カ所で古着を再利用した大規模な作品を発表した。

ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。

3 「タイムラグ・パーク2」アーティストプロフィール

沼田 侑香(ぬまた ゆか)氏

1992年千葉県千葉市出身。2022年東京藝術大学大学院油画専攻修了。アイロンビーズ等の素材を用いてコンピューターバグをモチーフとした作品を展開している。主な展示として「百年後芸術祭」(千葉県市原市、2024)、「クリテリオム100 沼田侑香」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城県水戸市、2024)など。その他に、NIKE Jordan Brandでのコミッションワーク作品が渋谷の店舗「World of Flight Tokyo Shibuya」に展示されている。